



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 322  
January  
2020

## トピックス

### 謹賀新年

アジア防災センター  
センター長 濱田政則

### 関係機関との防災協力推進

JICA研修「防災主流化の促進」の実施

### 国際会議への参加

第26回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSF-26)

Asian Disaster  
Reduction Center  
アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2020

## 謹賀新年

皆さまにおかれましては平穏で安寧な新年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、アジア防災センターの活動に御支援と御協力を賜りました。改めて厚く御礼申し上げます。

昨年もまた、世界が自然災害に見舞われた一年となりました。特に地球規模の気候変動に起因しているのではないかと考えられる風水害や異常乾燥による森林火災、旱魃および大規模な砂嵐などが世界各地で発生しました。その多くがアジア諸国に集中して発生しました。わが国も例外でなく、台風15号、19号によって各地で河川氾濫、都市の内水氾濫、斜面崩壊などが発生し、100人もの犠牲者が発生しました。アジア防災センターが果たすべき役割がますます増大してきていることを痛感しております。

このような状況を鑑みて、アジア防災センターの国内組織を一新することに致しました。設立以来21年間、一般財団法人都市防災研究所の附置機関として活動してまいりましたが、本年4月に一般財団法人アジア防災センターを発足させ、国際機関としてのアジア防災センターの運営を支えるとともに、国内活動の一層の充実を図っていく予定であります。

昨年のアジア防災会議は、新たにアジア防災センターに加盟したトルコ共和国の首都アンカラで開催されました。トルコ共和国は他のアジア諸国と同様、多くの悲惨な自然災害を経験してきましたが、その被災経験を教訓として自然災害に強い国土と社会の建設に取り組みられてきております。トルコ共和国による自然災害への対応と復興の経験は、他のアジア諸国の自然災害軽減に有用な知見を与えるものと考えております。

本年も、アジア防災会議をはじめとした国際会議の開催による加盟国間の協力体制の構築、人材開発、センチネルアジアの高度化による防災情報の整備と発信、加盟国の防災組織と体制整備への支援等にセンター職員一同全力を尽くす所存であります。引き続き御支援と御協力をお願い申し上げます。

アジア防災センター  
センター長 濱田 政則



### ●関係機関との防災協力推進

#### JICA研修「防災主流化の促進」の実施

ADRCは幾つかの研修コースのコースリーダーとして企画・運営や地方防災計画作成ワークショップ実施を行っています。防災主流化の促進研修

## 続き

はそのうちのひとつで、JICAが高品質と新機軸を謳う準高級向け研修の位置付けです。今年度は2019年12月1-14日の期間に世界11カ国22名（内ADRCメンバー9カ国：バングラデシュ、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、スリランカ、ベトナム）の研修員を迎えて実施しました。本研修では地方防災計画作成ステップ演習の他、我が国の防災政策や神戸市の地域防災計画、阪神・淡路大震災後の都市再開発、東京都の治水政策とその現場視察など講義・視察・演習を組み合わせることにより研修満足度の向上を図りました。2週間という短期間の研修でしたが、帰国後彼らが研修で学んだ知識や手法が、自国のより良い防災体制の構築に寄与するよう期待します。

また、当研修実施にあたり、訪問等を受入れいただきました各関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



神田川環状七号線地下調節池

## ●国際会議への参加

### 第26回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSF-26)

2019年11月26日から29日まで、日本の文部科学省、独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の共催により、アジア太平洋地域宇宙機関会議 (Asia-Pacific Regional Space Agency Forum, APRSAF) の年次会合が名古屋で開催されました。

APRSAFはアジア太平洋地域における宇宙利用の促進を目的として1993年に設立された、アジア太平洋地域で最大規模の宇宙関連会議です。この会議には、各国の宇宙機関や行政機関、国連等の国際機関や民間企業、研究機関等さまざまな組織が参加しています。また、現在では、APRSAFでは4つの分科会(宇宙利用・宇宙技術・宇宙環境利用・宇宙教育)が設置され、各国の宇宙活動や将来計画に関する情報交換を行うとともに、災害や環境など共通の問題解決に向けた具体的な国際協力活動を行っています。

今回、ADRCは宇宙利用分科会のワーキングに参加し、「センチネルアジア」における緊急観測対応や今後の行動計画について報告を行いました。「センチネルアジア」は、地球観測衛星画像などの情報を災害管理に活用しようとする活動です。ADRCは、1996年からこのセンチネルアジアの枠組みの中で、災害発生時におけるメンバー国等からの緊急観測の要求の窓口としての審査、宇宙機関との連絡調整等の役割を担っています。



報告の様子

## 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。